

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Fluorouracil paste treatment of thin basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	表在型 BCC に対する fluorouracil paste による治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ12-7	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ III ）	
	Pubmed ID	3977335	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	121	
	号	2	
	ページ	207-13	
	ISSN ナンバー	0003-987	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	1985	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Epstein E	Department of Dermatology, Unversity of California, Medical Center
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			

	目的	表在型 BCC に対する fluorouracil paste による治療	
	研究デザイン	非ランダム化比較試験	
	セッティング	カリフォルニア大学	
	対象者	Group A: 25%fluorouracil 単独使用例 44 例 Group B: Light curettage を加えて 25%fluorouracil 使用 244 例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	25% fluorouracil 単独使用例と使用前に curettage を行う群を比較検討する。いずれも毎週ドレッシングを交換して、これを 3 週間行う。	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	5 年後の累積再発率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	整容的効果	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	1) 25%fluorouracil 単独使用例では 5 年後の累積再発率 21% Light curettage を加えてから 25%fluorouracil 使用した場合は再発率が 6%であった。 2) A,B 両群ともに整容的には 80%以上の満足が得られた。	
	結論	表在型 BCC に対して、単独使用では十分満足な結果が得られず、light curettage を加えることで他の治療に劣らない治癒率が可能となる。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ III ） 5-FU の BCC の表面治療は有効であるが、浸潤傾向のあるタイプは適応ではないことを示した。	